# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

# ニューズ・レター　No.168

JSiSE

発行日　2010年9月30日
発行所　教育システム情報学会
発行者　岡本　敏雄


〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号
TEL06-6324-7767 FAX06-6324-7767
http://WWW.jsise.org/
E-mail：secretariat@jsise.org


**教育システム情報学会**

## JSiSE2010 年度第 4 回研究会　参加募集・プログラムのご案内
## 共催：教育システム情報学会　中国支部

担当：平嶋宗，曽我真人，柏原昭博，小尻智子（研究会委員会）

【テーマ】新しい学習／教育活動を可能にする ICT 活用とその評価／一般
【日時】2010 年１１月１３日（土）
【会場】広島大学　東広島キャンパス学士会館レセプションホール
〒739-0046　東広島市鏡山１丁目２－２
学士会館：
http://www.hiroshima-u.ac.jp/add_html/access/ja/saijyo2.html（ｻﾀｹﾒﾓﾘｱﾙﾎｰﾙ下）
広島大学へのアクセス：
http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/index.html

**【趣旨】** 学習／教育への ICT 活用は、（1）既存の学習／教育活動に適用することで教師・学習者にとって負荷の軽減や学習効果の向上といった活動の改善を狙いとするもの、と（2）従来は行えなかった新規性の高い学習／教育活動を実現するといった活動の提案を狙いとするもの、に大別することができる。新しい活動の提案は学習／教育の可能性を広げるものであり、ICT 活用における非常に重要なアプローチであることは明らかといえるものの、新しいが故にその評価は簡単ではないとも言える。学習／教育の文脈において新規性の高い試みをどのように評価してゆくべきかを、明らかにすることが今強く求められているといえる。

本研究会ではこのような現状を踏まえて、新しい学習／教育活動を可能にする ICT 活用とその評価」をテーマとして設定することで、このようなアプローチで ICT 活用に取り組んでいる研究を集めて、成果発表と意見交換の場を提供する。

●○●○●○●○●○●○●○●○●○≪　も　く　じ　≫○●○●○●○●○●○●○●○●○●


第４回研究会プログラム・・・・・・・・・・・1-2
第３回研究会開催報告・・・・・・・・・・・・ 3
国際会議のご案内・・・・・・・・・・・・・・ 4
第 35 回通常総会議案書・・・・・・・・・・・5-24
本年度各賞のご紹介・・・・・・・・・・・・・・25
新入会員のご紹介・事務局より・・・・・・・・・26
2010 年度研究会開催予定・・・・・・・・・・・27

## *プログラム（仮）*

**9：30－10：45**

（1）情報リテラシ教育向け大規模エージェントベースシステムの開発と評価
　　－テンプレートマッチング処理を用いた学習結果自動収集の改善－
　○田中敬一（近畿大学），和﨑克己（信州大学）
（2）テキストで検索可能な授業アーカイブシステムの試作
　○河本馨兵，山口真之介，大西淑雅，西野和典（九州工業大学）
（3）データベースソフトウエアを利用した外国語教育のための教材作成支援と教材データの多目的利用
　○神谷健一（大阪工業大学）

**10：45－10：55**　休憩

**10：55－12：10**

（4）ものづくり学習の組立てプロセスにおける評価予測システムの開発
　○臼坂高司，山本透（広島大学）
（5）情報系学生を対象としたアルゴリズム的思考法の教育効果に関する基礎的研究
　　－プログラミングを学習した学生群を対象として－
　○山本樹，香山瑞恵，國宗永佳（信州大学）
（6）プレゼンテーションを教材としたメタ学習支援システムの運用と評価
　○瀬田和久，野口大二郎，藤原稔（大阪府立大学），池田満（北陸先端科学技術大学院大学）

**12：10－13：30**　昼休み

**13：30－15：10**

（7）実機演習を用いた効果的なシステム管理者教育の実践
　○伊藤恵，新美礼彦，鈴木啓太（公立はこだて未来大学）
（8）拡張現実感技術を利用した体感学習ツール～手と目で実感できる光学系のシミュレーション～
　○柴田 将志 ・山口 健 ・吉川 浩（日本大学）
（9）脳活動信号の簡易な測定による学習活動の観察
　○本岡勝政（神戸市立広陵中学校）
（10）アクティブラーニング型学習空間の整備と授業実践
　○小島健太郎，井上仁（九州大学）

**15：10－15：20**　休憩

**15：20－16：35**

（11）moodle と Kaltura による動画教材配信システムの構築
　○篭谷隆弘（仁愛大学）
（12）Kidsnote: 児童や指導者が手軽に教育評価に活用できるオンラインビデオポートフォリオシステムの開発
　○野村泰朗，安本峻（埼玉大学），鈴谷大輔（ふじみ野市立福岡小学校）
（13）高等教育における CMS を活用した接続可能な教育システムの研究
　○松永公廣，佐野繭美（摂南大学），太田和志，鴨谷真知子（東大阪大学），深津智恵美（園田女子大学）

**16：35－16：45**　休憩

**16：45－18：00**

（14）ＩＣＴを活用した大学における簿記初学者教育
　○大田邦男（日本経済大学）
（15）オンライン高等教育における ICT 活用の日中比較
　○宇野令一郎（ビジネス・ブレークスルー大学），楊韻蒙（城西国際大学）
（16）大学間連携 e-learning 遠隔講義システムの導入
　坪内伸夫（京都産業大学），○阿部一晴（京都光華女子大学）

最新の情報は，下記 URL でご確認ください.
http://www.jsise.org/studygroupcommittee/index.html

**教育システム情報学会**

# JSiSE2010 年度第 3 回研究会 報告

担　当：米澤宣義、林敏浩、伊東幸宏、小西達裕

テーマ　：教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用／一般
開催日　：2010 年 9 月 4 日（土）
会　場　：香川大学生涯学習教育研究センター（〒760-8521　香川県高松市幸町 1－1）
発表件数：１３件　/　参加者数：約５０名

## 概　要：

第３回研究会は、猛暑の高松に集まっていただき、９月４日に香川大学で開催しました。本研究会は、第 35 回 JSiSE 全国大会企画セッションと連携して、「教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用」を統一テーマとしました。近年、大学等高等教育機関、民間、自治体、企業などで種々の形態で連携した教育プロジェクトが多く推進されています。このような教育プロジェクトを含む連携型教育実践を支える教育システムに関して設計、構築、運用の観点から情報共有し、さらに、議論を深めるため、関連した幅広い分野からの１３件（一般を含む）の発表が集まりました。特に運用の観点から、いかにこのような事業を継続していくかについて大きな関心が集まり、来年度も同テーマによる研究会開催を検討することになりました。

プログラム：

1. Adobe Flex によるグラフィカルなプログラミング学習支援環境
   ○空田卓也（香川大学大学院工学研究科）・香川考司（香川大学工学部）
2. AMF を利用したプログラミング学習支援システム
   ○中山和也（香川大学大学院工学研究科）・香川考司（香川大学工学部）
3. 「保護者も一緒に学ぶ」情報モラルの授業実践
   ○黒田勉（香川大学教育学部）・高橋正人（香川大学教育学部附属高松小学校）
4. コンピュータリテラシー教育と専門教育の接続 － 文系大学における事例 －
   ○皆川雅章・石川千温・渡邊愼哉・中村永友・新國三千代（札幌学院大学）
5. 大学間連携 e-learning プラットフォームの開発
   坪内伸夫（京都産業大学情報センター）・○阿部一晴（京都光華女子大学キャリア形成学部）
6. 先端 IT スペシャリスト育成プログラムにおける遠隔講義環境の構築
   ○工藤紀篤・片岡広太郎・徳田英幸（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）
7. 鹿児島大学における大学連携事業での ICT 活用教育の試み
   ○寺田将春（鹿児島大学）・和田智仁（鹿屋体育大学）・末永勝征（鹿児島純心女子短期大学）・
   鈴木雄清（志學館大学）・山之上卓（鹿児島大学）・竹之下朗（鹿児島大学）・別府優篤（鹿屋体育大学）・
   湯川浩司（鹿児島国際大学）・ロドリゲス・ホルメス（志學館大学）
8. 高等教育コンソーシアム信州における遠隔講義支援システムの運用
   森下孟（信州大学大学院総合工学系研究科）・○新村正明（信州大学 e-Learning センター）・
   茅野基（高等教育コンソーシアム信州）・鈴木彦文（信州大学総合情報センター）・
   永井一弥（信州大学総合情報センター）・矢部正之（信州大学全学教育機構）
9. e-Learning による四国の大学連携
   ○鈴木正信・林敏浩（e-Knowledge コンソーシアム四国）
10. 全面的に Shibboleth に対応した佐賀大学の学術情報基盤システム
    ○渡辺健次・大谷誠・江藤博文・只木進一（佐賀大学）
11. 無線メッシュネットワークを基盤とした拡張容易なレスポンスアナライザの試作
    ○戸川聡・細川康輝（四国大学）
12. 自動採点ツールによる教育効果の測定 － 演習履歴データの分析 －
    ○中村永友・石川千温・渡辺慎哉・小池英勝・皆川雅章（札幌学院大学）
13. 動的な科学現象の理解を支援する動画作成支援システムの開発
    ○藤澤修平・裏和宏・林敏浩・垂水浩幸（香川大学）・中山迅（宮崎大学）

# 国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

## 新着情報：２件

●Global Learn2011:
Global Conference on Learning and Technology
開催期間： March 28 - April 1, 2011
開催地 ： Melbourne, Australia
URL ： http://aace.org/conf/glearn/
論文投稿スケジュール：Call for Submissions: October 25, 2010
Proceedings Fil e： February 8, 2011

●FLAIRS:
The 24th Florida Artificial Intelligence Research Society Conference (ITS Special Track)
開催期間： May 18-20, 2011
開催地 ： Palm Beach, FL
URL ： http://rhea.memphis.edu/FLAIRS/index.html
論文投稿スケジュール：Call for Submissions: November 22, 2010

## 再掲情報：1.件

●SITE 2011:
The 22nd annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education
開催期間： March 7 - 11, 2011
開催地 ： Nashville, Tennessee
URL ： http://site.aace.org/conf/
論文投稿スケジュール：Call Submissions: October 21, 2010

―JSiSE 国際化委員会より―
“Global Learn2011”は、本学会も協賛する国際会議になります。多くの会員の皆様の論文投稿とご参加をお願いします。
Global Learn 2011 - Melbourne, Australia,
March 28 - April 1, 2011
organized by the Association for the Advancement of Computing inEducation (AACE)

# 第 36 回通常総会開催のご報告

■日　時：2010 年 8 月 27 日　　13：00～14：00
■会　場：北海道大学（大講義室）

総会開催にあたって、議長の選出が行われ、慣例により岡本会長が選出され、拍手でもって承認された。

第 1 号議案　2009 年度活動報告に関する件
第 2 号議案　2009 年度決算報告に関する件
第 3 号議案　2009 年度監査報告に関する件
第 4 号議案　2010 年度活動計画（案）に関する件
第 5 号議案　2010 年度予算（案）に関する件

## 第 1 号議案　2009 年度活動報告に関する件

2009 年度の活動について次のとおり報告します。

1．会員数

| | 名誉会員 | 正会員 | 準会員 | 企業・団体会員 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2008 年度末会員数 | 1 | 1,343 | 263 | 30 | 1,637 |
| 2009 年度入会 | 0 | 70 | 34 | 6 | 110 |
| 2009 年度会員種別変更 | 0 | 6 | −6 | 0 | ±0 |
| 2009 年度退会 | 0 | −23 | −6 | −2 | −31 |
| 2009 年度末会員数<br>2010.3.31 時点 | 1 | 1,396 | 285 | 34 | 1,716 |
| 2009 年度増減数 | ±0 | +53 | +22 | +4 | +79 |

2．運営活動

2．1　第 35 回通常総会
日時：2009 年 8 月 20 日
場所：名古屋大学

2．2　理事会・評議会

○第 131 回理事会・評議会
日時：2009 年 5 月 30 日（土）
場所：銀座会議室

○第 132 回理事会・評議会
日時：2009 年 7 月 25 日（土）
場所：大阪経済大学　E 館

○第 133 回理事会・評議会
日時：2009 年 8 月 20 日（木）
場所：名古屋大学

○臨時理事会・評議会
日時：2009 年 8 月 21 日（金）
場所：名古屋大学

○第 134 回理事会・評議会
日時：2009 年 10 月 3 日（土）
場所：東京ビジネスセンター

○第 135 回理事会・評議会
日時：2009 年 11 月 28 日（土）
場所：大阪経済大学　E 館

○第 136 回理事会・評議会
日時：2010 年 1 月 30 日（土）
場所：東京スタンダード会議室

○第 137 回理事会・評議会
日時：2010 年 3 月 27 日（土）
場所：東京スタンダード会議室

## 3. 事業活動

### 3. 1　研究会の開催

| 開催日時 | テーマ | 会　場 | 担　当 |
|---|---|---|---|
| 第 1 回研究会<br>2009 年 5 月 16 日(土) | 教育・学習支援における SNS の利活用／一般 | 電気通信大学 | 柏原昭博<br>小尻智子<br>曽我真人<br>平嶋　宗 |
| 第 2 回研究会<br>2009 年 7 月 4 日（土） | e-Learning の実践と学習支援システム／一般 | 北海道大学 | 小松川浩<br>野崎浩成<br>布施　泉<br>不破　泰 |
| 第 3 回研究会<br>2009 年 9 月 28 日（月） | 先進的なアルゴリズム／プログラミング学習・教育支援システム／一般 | 静岡大学 | 伊東幸宏<br>小西達裕<br>林　敏浩<br>米澤宣義 |
| 第 4 回研究会<br>2009 年 11 月 20 日(金) | e ラーニング環境のデザインと HRD／一般 | 放送大学 | 石打智美<br>北村士郎<br>仲林　清<br>松居辰則 |
| 第 5 回研究会<br>2010 年 1 月 23 日(土) | モバイル＆ユビキタスラーニングと新しいユーザ・エクスペリエンス／一般 | 東北大学 | 佐々木整<br>永森正仁<br>三石　大 |
| 第 6 回研究会<br>2010 年 3 月 13 日(土) | 生涯教育と情報教育／一般 | 畿央大学 | 松永公廣<br>西野和典<br>西端律子 |
| 特集論文研究会<br>2010 年 3 月 13 日(土) | ネットワークコミュニティにおける学習・教育支援 | 畿央大学 | 小西達裕<br>柏原昭博 |

### 3. 2　委員会活動　他

○英文誌編集委員会

英文誌 Vol.8, No.1 の編集・発行
掲載数：8 （原著 5, ショート 1, 実践速報 1, 翻訳論文 1）
投稿数：14（原著 6, 実践 4, ショート 2, 実践速報 2）

○企画委員会

講演会

テーマ：中国の教育政策と危機対応
講　師：劉　占山　氏（中国領事館（大阪）教育領事）
日　時：2009 年 7 月 30 日　　13 時 30 分～15 時
場　所：大阪大学　吹田キャンパス 人間科学研究科
主　催：JSiSE 企画委員会・大阪大学大学院人間科学研究科

○国際化委員会

JSiSE の国際社会での Visibility を高める活動の一環として、昨年度はこの分野で最も権威のある国際会議である ITS2008 の公式協賛団体として開催に貢献すると共に、Best Paper Award の Sponsor になるなどの活動を行った。2009 年度では更に規模としては最大の IFIP（国際情報処理学会連合）が主催する WCCE:WorldConference on Computers in Education(Bento Goncalves, Brazil. 27-31,July 2009)の公式協賛団体として会議の開催に貢献した。この会議は、全世界 36 ヶ国から代表が公式に委員として選出され運営が行われている Technical Committee3 によって運営される会議であり、約 2000 名の参加があった。5 つの基調講演の内一つは JSiSE 会員によるものであり、JSiSE の存在を印象づけた。

○顕彰委員会

2009 年度功労賞に、元金沢学院大学教授の樋川和伸氏が推薦され、
第 35 回総会の場で表彰式が行われた。

○WWW 委員会

・学会 Web ページの管理と構築・メーリングリストの管理を実施
・各賞の紹介のページを新設
・英語のサイトを開設

○渉外・活性化委員会

| 開催地区 | 開催場所 | 開催日 | 発表件数 | 来場者数 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道： | 千歳科学技術大学 | 2010年3月4日(木) | ６件 | １９名 |
| 関　東： | 電気通信大学 | 2010年3月8日(月) | １０件 | ３６名 |
| 北　陸： | 金沢大学 | 2010年3月1日(月) | １０件 | ２９名 |
| 東　海：(東海支部) | 名城大学 | 2010年3月3日(水) | １６件 | ４２名 |
| 関　西：(関西支部) | 関西学院大学 | 2010年3月6日(土) | ２０件 | ５２名 |
| 中　国：(中国支部) | 広島市立大学 | 2010年3月8日(月) | １２件 | ４０名 |
| 四　国： | 香川大学 | 2010年3月15日(月) | ５件 | ３２名 |
| 九　州： | 日本文理大学 | 2010年3月1日(月) | １０件 | ３１名 |
| 合　計 | | | ８９件 | ２８１名 |

○情報教育委員会

・2009 年度臨時理事・評議会(2009 年 8 月 21 日・名古屋大学)にて常設委員会としての情報教育委員会設置決定。同時に委員長，副委員長の承認。
・その後，委員長，副委員長間で主にメールで委員構成，活動案等を議論。
・この間，委員候補者に委員就任依頼要請・承諾
・第 136 回理事・評議員会（2010 年 1 月 30 日）にて委員構成案を提案，了承される。
・この間，今後の活動について委員長，副委員長間にて検討。
・2010 年 3 月 27 日第 1 回情報教育委員会開催
産学連携，人材育成をテーマとしたグループ A，高大連携（専門教科情報や，専門学校等も視野に入れる）をテーマとしたグループ B の 2 グループを設置し，各委員がそれぞれに所属して活動することとした。また，全国大会ワークショップに向けて取り組むこととした。

○産学官連携・人材開発戦略委員会

―前半―

2008年度に引き続き、大学研究者と企業人事育成担当者および他学会･組織とのコラボレーションを図り、
・企業内教育担当者に対する、JSiSE会員の研究のアピール
・JSiSE会員に対する、企業・大学における人材育成開発課題の啓発を進めた。５月にイベントを２件開催。

―後半―

「学習する組織による自己変革」をテーマとし、産学官間の相互啓発の場を提供すべく、シンポジューム開催企画を検討した。
委員会は、電子会議にて6回（9/1,10/1,11/12,12/8,1/6,2/15）開催。

1)ラーニングデザインフォーラム（フォーラム）

主　題：ラーニングデザインの最新動向、実践事例ご紹介
実施日：2009年5月8日
場　所：電気通信大学
講演者・演題：Macquarie大学　教授　James Dalziel　氏
「Visualizing and Implementing Learning Designs」
名古屋文理大学　教授　山住　富也　氏
「日本でのLAMS活用事例」
放送大学　教授　仲林　清　氏
「IMS Learning　Design　規格についての解説」

パネルディスカッション
テーマ：Learning Design の教育実践への活用の可能性について
登壇者：Macquarie大学　教授　James Dalziel 氏
千歳科学技術大学　教授　小松川　浩 氏
広島大学　教授　平嶋　宗 氏
熊本大学　助教　根元　淳子 氏
東洋大学　准教授　平田　謙次 氏

2)企業におけるSNSの活用と実践（パネル討論）
※研究会委員会との合同企画
主　題：企業におけるSNS活用の実際、課題、今後の展望
実施日：2009年5月16日
場　所：電気通信大学
登壇者・演題：富士通ラーニングメディア　宮川　和美 氏
「コミュニティ　オブ　プラクティス
－社内SNSによる組織の壁を越えた多様な集合知の形成支援－」
株式会社ガイアックス、株式会社ソーシャルグループウェア　佐別当　隆志 氏
「SNSを活用した内定者フォローと新入社員教育
－SNSを活用した新入社員教育・トレーナー制度運用の事例紹介－」

○新技術開発・活用委員会
・ＳＮＳをメインテーマとした特集論文研究会の開催（旧ＳＮＳ・新技術創造委員会と連携）
テーマ　：ネットワークコミュニティにおける学習・教育支援
日時・場所：2010 年 3 月 13 日(土)，畿央大学
発表件数　：16 件
・ＳＮＳをメインテーマとした学会誌特集論文（2011 年 1 月 1 日号）の企画，準備
（旧ＳＮＳ・新技術創造委員会と連携）
・新技術開発活用委員会　幹事会の開催
日時・場所：2009 年 12 月 11 日(金)，琉球大学
議　題　：2009 年度,2010 年の活動計画について
新技術開発に関する新しいテーマについて

○若手育成・会員獲得委員会
委員間で会員獲得・若手育成のための施策を議論し、以下の活動を行った。
1)イベント時の入会促進
研究会等のイベント時にその場で入会した場合に入会金を免除する制度を新設し、
イベントにおいてより強く入会勧誘することで、会員獲得につなげた。
2)「若手の会」等の支援に向けた調査
若手研究者の入会促進に向けて、各地で実施されている「若手の会」を支援し、JSiSEのプレゼンスと入会のメリットを示すことをめざし、「若手の会」が開催される地域の委員が赴き、求められる支援についてヒアリング調査等を行った。
3)産学連携・人材育成システム委員会等、他の委員会とのとの連携
企業会員、および企業勤務をしている個人の入会促進のため、産学連携・人材育成システム委員会との連携・協力を模索した。
4)企業・団体会員向けの勧誘ツール作成
企業・団体会員勧誘用のツール（入会のメリットをアピールするペーパー）を作成し、未加入企業への勧誘に用いた。

○教育システム技術標準化委員会
情報処理学会 情報規格調査会 SC36 （学習・教育・訓練における情報技術）専門委員会などと連携して活動を進めた。
ISO/IEC JTC1 SC36 総会が日本で開催されたのを機に共催で以下のシンポジウムを行った。

主　題：情報技術標準化フォーラム
「e ラーニング標準化の過去と未来 －情報システム，教育，社会のイノベーションの視点から－ 」
実施日：2010 年 3 月 15 日
場　所：東洋大学

主　催：(社)情報処理学会　情報規格調査会
共　催：放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター
　　教育システム情報学会・(特) 日本人材データ標準化協会・ 東洋大学
協　賛：(特) 日本イーラーニングコンソシアム
登壇者：井上幹邦　(経済産業省 産業技術環境局 情報電子標準化推進室長)
　　岡本敏雄　(Convener, ISO/IEC JTC1/SC36/WG2, JSiSE 会長, 電気通信大学))
　　Bruce Peoples (Chair, ISO/IEC JTC1/SC36)
　　Rob Abel (CEO, IMS Global Learning Consortium)
　　Christian Stracke (Convener, ISO/IEC JTC1/SC36/WG5)
　　Paul Jesukiewicz (ADL)
　　仲林 清 (放送大学)
　　Yong-Sang Cho (Korea Education and Research Information Service)
　　梶田将司 (名古屋大学)
　　Bernard Blandin (Convener, ISO/IEC JTC1/SC36/WG3)
　　平田謙次 (東洋大学)

3．3　学会誌の発行

○論文誌

Vol.26,No.1　JSiSE2009(特集号)
Vol.26,No.2　JSiSE2009
Vol.26,No.3　JSiSE2009
Vol.26,No.4　JSiSE2009
Vol.27,No.1　JSiSE2010(特集号)

○英文誌

Vol.8 No.1　JSiSE2009

3．4　研究報告書の発行

Vol.24,No.1 研究報告
Vol.24,No.2 研究報告
Vol.24,No.3 研究報告
Vol.24,No.4 研究報告
Vol.24,No.5 研究報告
Vol.24,No.6 研究報告
Vol.24,No.7 研究報告

3．5　ニューズレターの発行

NO.160　2009 年　5 月 31 日
No.161　2009 年　7 月 31 日
No.162　2009 年　9 月 30 日
No.163　2009 年 11 月 30 日
No.164　2010 年　1 月 31 日
No.165　2010 年　3 月 31 日

3．6　全国大会

第 34 回全国大会
開催日時：2009 年 8 月 19 日 (水) ～21 日 (金)
場　　所：名古屋大学

## 4. 支部活動

### 4. 1　関西支部

1) 支部評議員会

2009 年度関西支部評議員会
実施日：2009 年 5 月 30 日（土）13:00-14:00
場　所：関西学院大学大阪梅田キャンパス
議　題：①2008 年度事業報告
②2008 年度収支決算報告
③会計監査報告
④2009 年度事業計画
⑤2009 年度予算
⑥人事案件
⑦その他

2) 支部講演会

実施日：2009 年 5 月 30 日（土）14:15-15:15
場　所：関西学院大学大阪梅田キャンパス

3) 支部賛助会員懇談会

実施日：2009 年 5 月 30 日（土）15:30-17:30
場　所：関西学院大学大阪梅田キャンパス

4) 支部研究会

(1)高等教育研究会
実施日：2009 年 12 月 19 日（土）13：30-17：00
場　所：西宮市大学交流センター

(2)第 24 回学生研究発表会
実施日：2010 年 3 月 7 日（土）　13：00-17：00
場　所：関西学院大学大阪梅田キャンパス

5) 支部懇談会

実施日：2010 年 3 月 7 日（土）　17：00-18：00
場　所：関西学院大学大阪梅田キャンパス

### 4. 2　東海支部

1.2009年度「総会」および「研究会」等の開催

1)2009 年度「総会」および「幹事会」

日　時：5 月23 日(土) 15:00～15:30
会　場：名古屋大学東山キャンパスIB 電子情報館南棟362 室
議　題：　1. 教育システム情報学会東海支部支部長・副支部長選挙
2. 教育システム情報学会東海支部役員名簿(案)
3.2008年度活動報告
4.2008年度決算報告及び監査報告
5.2009年度活動計画（案）
6.2009年度予算（案）

2)第１回「幹事会」

日　時：5 月23 日（土） 13：30～13:55
場　所：名古屋大学東山キャンパスIB 電子情報館南棟362 室
内　容：総会および全国大会等について

3)第２回「幹事会」

日　時：6 月13 日（土）10:30～
会　場：南山大学Ｊ棟４階会議室（Ｊ４１５）
内容全国大会の東海支部提案ワークショップの企画について
東海支部の活動について，役員名簿について

4)第３回「幹事会」
日　時：9 月5 日（土）15:00～16:20
会　場：名古屋大学東山キャンパスIB 電子情報館南棟362 室
内容支部会則，今後の活動計画，会員拡充について
5)第４回「幹事会」
日　時：10 月17 日（土）13:30～14:00
会　場：名古屋大学IB 館南棟3F 362 室
内容支部会則，今後の活動計画，会員拡充について
6)第５回「幹事会」
日　時：12 月26 日（土）16:00～
会　場：名古屋大学IB 館南棟3F 362 室
内容東海支部活動の審議(会則、運営・活動事項など)
東海支部活動の報告(国際会議，研究会など)について
7)第６回「幹事会」
日　時：2010 年3 月3 日（水）9:00～9:40
会　場：名城大学天白キャンパスタワー75 10 階1004 会議室
内容会則の提案，顧問選出委員会の設置と起案，顕彰委員会の設置と起案
総会開催要項，支部活動計画，学生・院生研究発表会について
その他東海支部活動の審議(会則、運営・活動事項など)

2.研究会等の開催
1)第１回学習会
日　時：7 月11 日(土) 13:30 ～ 15:00
場　所：名古屋大学ＩＢ電子情報館南棟3F362 室
テーマ：東海支部企画ワークショップに関する学習会
オープンソースによるLMS/CMS の可能性～sakai とmoodle の活用事例を通して～
2)第２回学習会
日　時：8 月8 日（土）15:30～17:30
場　所：名古屋大学ＩＢ電子情報館南棟3F362 室
テーマ：オープンソースによるLMS/CMS の可能性～sakai とmoodle の活用事例を通して～
3)東海支部共同研究プロジェクト
日　時：9 月1 日(火)／9 月5 日(土)13:30～14:50／9 月10 日(木)午後
場　所：名古屋大学東山キャンパスIB 電子情報館南棟362 室等
テーマ：産学連携による発達障害者向け学習・生活支援システム
4)第34 回教育システム情報学会全国大会の受賞記念講演
日　時：10 月17 日(土) １４：00～15:30
場　所：名古屋大学IB 館南棟3F 362 室
5)研究会
日　時：12 月26 日（土）15:00～16:00
場　所：名古屋大学IB 館南棟3F 362 室

3.JSiSE 東海支部が共催・協賛した講演会等
1)情報処理学会第2 回講演会
日　時： 2009 年7 月2 日（木）15 時～16 時半
場　所：名古屋大学野依記念学術交流館カンファレンスホール
主　催：情報処理学会
共　催： 教育システム情報学会東海支部
講演者：杉原厚吉（明治大学研究・知財戦略機構・特任教授）
タイトル：「視覚の数理--- だまし絵と立体錯視」
2)名古屋大学大学院情報科学研究科学術講演会
日　時： 2010 年2 月19 日（金）15:30～17:00
場　所：名古屋大学IB 電子情報館中棟015 講義室
主　催：名古屋大学大学院情報科学研究科
共　催： 教育システム情報学会東海支部
講演者：Prof. Maan Ammar(Damascus University, Syria)

タイトル：Signature Verification from Research to Commercial Application:Experience of 25 years

3)第28 回東海ファジィ研究会＆第7 回人間共生システム研究会

日　時：2010 年2 月13 日（土）～14 日（日）

場　所：日間賀島公民館（南知多町役場日間賀島サービスセンター）

主　催：日本知能情報ファジィ学会東海支部

協　賛：教育システム情報学会東海支部ほか

講演件数：一般講演２２件，特別講演１件

4.支部会員が運営に関わった研究会等

1)電子情報通学会教育工学研究会(ET)

日　時：2009 年6 月13 日(土)13:00～17:00

場　所：南山大学名古屋キャンパスB 棟

テーマ：e-Learning コンテンツ／一般　　発表件数：７件

2)2009 年度JSiSE 学生研究発表会（名古屋会場）

日　時：2010 年3 月3 日(水) 10：00-17：00（17:10-審査・表彰式、18:00-懇親会）

会　場：名城大学天白キャンパスタワー75 10 階1002 会議室

主　催：教育システム情報学会渉外・活性化委員会

発表件数：オーラルセッション16 件

5.その他

教育システム情報学会第34 回全国大会

日　時：8 月19 日(水) - 21 日(金)

会　場：名古屋大学

4．3　中国支部

1)中国支部総会および支部大会の開催

日　時　：2009 年 6 月 27 日（土）

会　場　：広島大学東広島キャンパス

発表件数：9 件

参加者　：39 名

2)教育システム情報学会中国地区学生研究発表会

日　時　：2010 年 3 月 8 日（月）

会　場　：広島市立大学

発表件数：12 件

参加者　：40 名

## 第 2 号議案　2009 年度決算報告に関する件

2009 年度の決算を次のように報告いたします。

### 1. 2009 年度収支計算書総括表 （自 2009 年 4 月 1 日　至 2010 年 3 月 31 日）

(1)収入の部　　（単位:円）

| 科目 | 合計 | 通常会計 | 事業会計 |
|---|---|---|---|
| 1. 入会金 | 98,000 | 98,000 | ― |
| 2. 会費 | 8,502,000 | 8,502,000 | ― |
| 3. 資料販売等 | 4,662,466 | 4,662,466 | ― |
| 4. 広告収入 | 700,000 | 700,000 | ― |
| 5. 全国大会 | 6,855,328 | ― | 6,855,328 |
| 6. 企画セミナー | 0 | ― | 0 |
| 7. 雑収入 | 12,177 | 11,258 | 919 |
| 当期収入合計 (A) | 20,829,971 | 13,973,724 | 6,856,247 |
| 前年度繰越収支差額 | 8,013,378 | 6,104,464 | 1,908,914 |
| 収入合計 (B) | 28,843,349 | 20,078,188 | 8,765,161 |

(2) 支出の部　　（単位:円）

| 科目 | 合計 | 通常会計 | 事業会計 |
|---|---|---|---|
| 1. 印刷費 | 6,993,120 | 6,993,120 | ― |
| 2. 委託費 | 1,689,018 | 1,689,018 | ― |
| 3. 通信費 | 1,505,060 | 1,505,060 | ― |
| 4. 会議費 | 574,177 | 574,177 | ― |
| 5. 旅費 | 429,600 | 429,600 | ― |
| 6. 人件費 | 2,770,200 | 2,770,200 | ― |
| 7. 消耗品費 | 155,011 | 155,011 | ― |
| 8. 支部支援費 | 499,061 | 499,061 | ― |
| 9. 賃借料 | 1,028,880 | 1,028,880 | ― |
| 10. 光熱費 | 61,280 | 61,280 | ― |
| 11. 全国大会 | 5,682,747 | ― | 5,682,747 |
| 12. 企画セミナー | 0 | ― | 0 |
| 13. 雑費 | 83,205 | 83,205 | ― |
| 14. 予備費 | 31,754 | 31,754 | 0 |
| 当期支出合計(C) | 21,503,113 | 15,820,366 | 5,682,747 |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 673,142 | △ 1,846,642 | 1,173,500 |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 7,340,236 | 4,257,822 | 3,082,414 |

## 2. 2009 年度収支決算書（自 2009 年 4 月 1 日　至 2010 年 3 月 31 日）

### 1）通常会計収支決算書

(1)収入の部　　(単位:円)

| 科目 | 2009 年度予算 | 2009 年度決算 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1. 入会金 | 50,000 | 98,000 | 48,000 | |
| 2. 会費 | 9,950,000 | 8,502,000 | △ 1,448,000 | |
| 正会員 | 7,700,000 | 6,688,000 | △ 1,012,000 | |
| 準会員 | 500,000 | 428,000 | △ 72,000 | |
| 企業･団体(維持)会員 | 1,750,000 | 1,386,000 | △ 364,000 | |
| 3. 資料販売等 | 4,700,000 | 4,662,466 | △ 37,534 | |
| 研究報告 | 1,200,000 | 1,210,300 | 10,300 | |
| 学会誌 | 300,000 | 350,576 | 50,576 | |
| 別刷収入 | 3,200,000 | 3,101,590 | △ 98,410 | |
| 4. 広告収入 | 1,000,000 | 700,000 | △ 300,000 | |
| 5. 雑収入 | 100,000 | 11,258 | △ 88,742 | 受取利息 |
| 当期収入合計(A) | 15,800,000 | 13,973,724 | △ 1,826,276 | |
| 前年度繰越収支差額 | 6,104,464 | 6,104,464 | 0 | |
| 収入合計(B) | 21,904,464 | 20,078,188 | △ 1,826,276 | |

(2)支出の部　　(単位:円)

| 科目 | 2009 年度予算 | 2009 年度決算 | 増減 | |
|---|---|---|---|---|
| 1. 印刷費 | 6,730,000 | 6,993,120 | 263,120 | |
| 学会誌 | 2,800,000 | 3,436,755 | 636,755 | 学会誌 5 回 |
| 英文誌 | 1,400,000 | 908,775 | △ 491,225 | 英文誌 1 回 |
| 別刷印刷費 | 800,000 | 1,050,210 | 250,210 | |
| ニューズレター | 330,000 | 358,365 | 28,365 | |
| 研究報告書 | 1,000,000 | 876,960 | △ 123,040 | |
| 封筒印刷費 | 300,000 | 202,335 | △ 97,665 | |
| その他印刷費 | 100,000 | 159,720 | 59,720 | |
| 2. 編集委員会委託費 | 1,100,000 | 1,689,018 | 589,018 | |
| 和文誌 | 800,000 | 1,164,018 | 364,018 | |
| 英文誌 | 300,000 | 525,000 | 225,000 | |
| 3. 通信費 | 2,100,000 | 1,505,060 | △ 594,940 | |
| 4. 会議費 | 500,000 | 574,177 | 74,177 | |
| 5. 旅費 | 500,000 | 429,600 | △ 70,400 | |
| 6. 人件費 | 3,000,000 | 2,770,200 | △ 229,800 | |
| 7. 消耗品費 | 150,000 | 155,011 | 5,011 | |
| 8. 支援費 | 640,000 | 499,061 | △ 140,939 | |
| 支部 | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| 研究会委員会 | 180,000 | 136,158 | △ 43,842 | |
| その他支援費 | 400,000 | 302,903 | △ 97,097 | |
| 9. 賃借料 | 1,100,000 | 1,028,880 | △ 71,120 | |
| 10. 光熱費 | 60,000 | 61,280 | 1,280 | |
| 11. 雑費 | 200,000 | 83,205 | △ 116,795 | |
| 12. 予備費 | 200,000 | 31,754 | △ 168,246 | |
| 当期支出合計(C) | 16,280,000 | 15,820,366 | △ 459,634 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 480,000 | △ 1,846,642 | △ 1,366,642 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 5,624,464 | 4,257,822 | △ 1,366,642 | |

## 2)事業会計収支計算書

(1)収入の部 (単位:円)

| 科目 | 2009 年度予算 | 2009 度決算 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1.全国大会 | 5,000,000 | 6,855,328 | 1,855,328 | |
| 2.企画セミナー | 0 | 0 | 0 | |
| 3.雑収入 | 0 | 919 | 919 | 受取利息 |
| 当期収入合計(A) | 5,000,000 | 6,856,247 | 1,856,247 | |
| 前年度繰越収支差額 | 1,908,914 | 1,908,914 | 0 | |
| 収入合計(B) | 6,908,914 | 8,765,161 | 1,856,247 | |

(2)支出の部 (単位:円)

| 科目 | 2009 年度予算 | 2009 年度決算 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1.全国大会 | 5,000,000 | 5,682,747 | 682,747 | |
| 2.企画セミナー | 0 | 0 | 0 | |
| 3.予備費 | 100,000 | 0 | △ 100,000 | |
| 当期支出合計(C) | 5,100,000 | 5,682,747 | 582,747 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 100,000 | 1,173,500 | 1,273,500 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 1,808,914 | 3,082,414 | 1,273,500 | |

## 3.貸借対照表(2010 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | | |
|---|---|---|---|---|
| 普通預金(みずほ麹町) | 4,459,059 | | | |
| 1325993 一般用 | | 前受金 | | 153,000 |
| 普通預金(池田・上新庄) | 417,218 | 未払金 | | 1,151,629 |
| 13440 一般用 | | | | |
| 郵便振替 | 264,305 | | | |
| 6-709632 一般用 | | | | |
| 普通預金(みずほ茨木) | 1,909,472 | | | |
| 事業用 | | | | |
| | | 負債合計 | | 1,304,629 |
| | | 【資本の部】 | | |
| 郵便定額(事業積立) | 200,361 | | | |
| 事業用 | | 資本金 | | 4,237,205 |
| 郵便定額(基本財産) | 4,237,000 | | | |
| 郵便定額(基本財産(利息＋繰越分)) | 260,207 | | | |
| | | 別途積立金 | 通常 0 | |
| 現金(基本財産) | 205 | | 事業 200,000 | 200,000 |
| 現金 | 61,662 | | | |
| 事務局 61,662 | | 次期繰越収支差額 | 通常(前期分) 6,104,464 | |
| | | | (当期分) -1,846,642 | 4,257,822 |
| 立替金 100,000 | 100,000 | | 事業(前期分) 1,908,914 | |
| 未収入金 | 1,172,581 | | (当期分) 1,173,500 | 3,082,414 |
| | | 資本合計 | | 11,777,441 |
| 資産合計 | 13,082,070 | 資本負債合計 | | 13,082,070 |

## 4. 計算書類に対する注記

次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科目 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|---|---|---|
| 現金・預金 | 8,013,378 | 7,340,236 |
| 合計 | 8,013,378 | 7,340,236 |

## 第 3 号議案　2009 年度監査報告に関する件

2009 年度の監査報告は次のとおりです。

# 監　査　報　告

教育システム情報学会
　　会長　　岡本　敏雄　殿

２００９年度の教育システム情報学会の事業執行の状況並びに、２００９年度の財務諸表および決算報告について、厳正に監査した結果、適法かつ妥当であることを確認致しました。

２０１０年7月２４日

監　事　　伊藤　紘二

同　　小荒井　順

# 第 4 号議案　2010 年度活動計画（案）に関する件

2010 年度の活動計画を次のように提案いたします。

## 1．運営活動

### 1．1　第 36 回通常総会

日　時：2010 年 8 月 27 日（金）
場　所：北海道大学

### 1．2　理事会・評議会

○第 138 回理事会・評議会
日時：2010 年 5 月 29 日（土）
場所：東京スタンダード会議室

○第 139 回理事会・評議会
日時：2010 年 7 月 24 日（土）
場所：大阪経済大学　E 館

○第 140 回理事会・評議会
日時：2010 年 8 月 27 日（金）
場所：北海道大学

○第 141 回理事会・評議会
日時：2010 年 9 月 25 日（土）
場所：東京

○第 142 回理事会・評議会
日時：2010 年 11 月 27 日（土）
場所：東京

○第 143 回理事会・評議会
日時：2011 年 1 月 29 日（土）
場所：大阪

○第 144 回理事会・評議会
日時：2011 年 3 月 26 日（土）
場所：東京

## 2．事業活動

### 2．1　研究会の開催

| 日　時 | 内　容 | 会　場 | 担　当 |
|---|---|---|---|
| 第 1 回研究会<br>2010 年 5 月 28 日(金) | e ラーニング環境のデザインと HRD（Human Resource Development）／一般 | 明治大学 | 石打智美<br>北村士朗<br>仲林　清<br>松居辰則 |
| 第 2 回研究会<br>2010 年 7 月 10 日(土) | ICT を活用した学習支援システムと学習コンテンツ／一般 | 信州大学 | 小松川浩<br>野崎浩成<br>布施　泉<br>不破　泰 |
| 第 3 回研究会<br>2010 年 9 月 4 日(土) | 教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用／一般 | 香川大学 | 伊東幸宏<br>小西達裕<br>林　敏浩<br>米澤宣義 |
| 第 4 回研究会<br>2010 年 11 月 13 日(土) | 新しい学習／教育活動を可能にする ICT 活用とその評価 | 広島大学 | 柏原昭博<br>小尻智子<br>曽我真人<br>平嶋　宗 |
| 第 5 回研究会<br>2011 年 1 月 29 日(土) | 新技術の開発と活用による新しい教育・学習環境/一般 | 長岡技術科学大学 | 佐々木整<br>永森正仁<br>三石　大 |
| 第 6 回研究会<br>2011 年 3 月 19 日(土) | 情報教育の国際化／一般 | 九州工業大学 | 松永公廣<br>西野和典<br>西端律子 |

## 2．2　委員会活動　他

○英文誌編集委員会

英文誌Vol.9, No.1の編集・発行
投稿数：15（原著8, 実践4, ショート1, 実践速報2）
現在, 査読中

○国際化委員会

1)学会ホームページに英語表示機能を持たせる。
2)英文の学会案内の制作。
3)国際会議等におけるJSiSEの紹介活動ならびに英文誌等の配布。

○WWW 委員会

2009 年度に引き続き、学会 Web ページの管理と構築・メーリングリストの管理を行う。

○情報教育委員会

1)2010 年４月２４日第２回情報教育委員会開催 1
全国大会ワークショップについて検討。
グループ A, グループ B それぞれでワークショップに取り組むこととした。
2)2010 年 6 月 27 日第 3 回情報教育委員会開催
全国大会ワークショップについて検討。
グループ A, グループ B の取り組みについて順調に準備が進んでいる旨の報告がなされた。
3)全国大会ワークショップの成果を踏まえて，今後検討していくことにしている。
（2010 年 6 月 30 日現在）

○産学官連携・人材育成開発戦略委員会

2009年度の検討結果をベースに2010年秋にシンポジウム開催を目指し準備を進めていく。

○新技術開発・活用委員会

1)ＳＮＳをメインテーマとした学会誌特集論文（2011 年 1 月 1 日号）の企画，実施
（旧ＳＮＳ・新技術創造委員会，学会誌編集委員会と連携）
テーマ　：ネットワークコミュニティにおける学習・教育支援（2010 年 5 月 15 日締切）
投稿件数：19 件程度
2)新技術開発に関する第 35 回全国大会でのワークショップ企画
日時・場所：2010 年 8 月 26 日（木），北海道大学
企画内容　：クラウドコンピューティングと HTML5 の今と未来（予定）
クラウドコンピューティング：高野了成氏（産総研 情報技術研究部門）
HTML5　：浅井智也氏（Mozilla Japan ）
3)新技術開発に関する研究会の企画
（研究会委員会と連携）
日時・場所：2011 年 1 月 29 日（土），長岡技術科学大学
テーマ　　：新技術の開発と活用による新しい教育・学習環境（予定）

○若手育成・会員獲得戦略委員会

1)イベント時の入会促進を引き続き行う。
2)「若手の会」等への具体的な支援活動を実施する。
3)他の委員会との連携を強化する。
4)入会促進用のツールを企画・製作していく。
5)マーケティングリサーチ（今後、どのような方面に、どのような方法で会員拡大の活動をしていくかの探索）を行う。

○教育システム技術標準化委員会

前年に引き続き，情報処理学会 情報規格調査会 SC36 専門委員会などと連携して活動を進める.

2．3　学会誌の発行

○論文誌

Vol.27,No.2　JSiSE2010
Vol.27,No.3　JSiSE2010
Vol.27,No.4　JSiSE2010
Vol.28,No.1　JSiSE2011（特集号）

○英文誌

Vol.9,No.1　JSiSE2010

2．4　研究報告書の発行

Vol.25,No.1 研究報告
Vol.25,No.2 研究報告
Vol.25,No.3 研究報告
Vol.25,No.4 研究報告
Vol.25,No.5 研究報告
Vol.25,No.6 研究報告

2．5ニューズレターの発行

NO.166　2010年　5月31日
No.167　2010年　7月31日
No.168　2010年　9月30日
No.169　2010年 11月30日
No.170　2011年　1月31日
No.171　2011年　3月31日

2．6　全国大会

第35回全国大会
日　時：2010年8月26日(木) ～ 28日(金)
場　所：北海道大学

## 3．支部活動

### 3．1　関西支部

1）支部評議員会

2010年度関西支部評議員会
実施日：2010年5月30日（日）13:00-14:30
場　所：甲南大学　CUBE西宮（マネジメント創造学部）
内　容　①2009年度事業報告

### 3．2　東海支部

1.2010年度総会

日時：5月8日(土)16:10～17:00
会場：名古屋大学東山キャンパスIB 電子情報館南棟295 室
議題：　1.支部会則の改訂
　　2.2009年度活動報告
　　3.2009年度決算報告及び監査報告
　　4.2010年度活動計画（案）
　　5.2010年度予算（案）
　　6.顕彰委員会の設置
　　7.顧問選出委員会の設置

2.研究会等の開催
年に5回程度，開催する
[第1回研究会]
日　時：5月8日(土) 14:30～16:00
会　場：名古屋大学東山キャンパスIB 電子情報館南棟295 室
[第2回（予定）]
日　時：6月26日(土)
会　場：南山大学
3.東海支部会員が主体となって取り組む共同研究プロジェクト
[e-ラーニング学習会]
日　時：4月16日(金)16:00～
会　場：南山大学名古屋キャンパス第2研究室棟3階310室（客員研究室）
1)支部会員の中から，プロジェクトの共同研究者を広く募る。
2)定期的な会合を実施する。
3)科研費など競争的経費へ共同申請する。
1)JSiSE 第2回研究会
日　時：7 月10 日（土）
会　場：信州大学
発表申込締切：5 月10 日（月）
2)教育システム情報学会第35 回全国大会
日　時：8 月26 日- 28 日
会　場：北海道大学
3)学生研究発表会3 月（支部研究会との連動）
4)ET 研やJSiSE 全国大会での発表等との連携を考える。
5)電気関係学会東海支部連合大会への加盟は(分担金が必要だが)
6)臨時総会開催について

3．3　中国支部
1.中国支部総会および支部大会の開催
日　時：　2010 年 7 月 10 日（土）
会　場：　山口市ホテルかめ福
プログラム
招待講演 1 件（大槻説乎先生）
特別講演 2 件（黒瀬能聿先生，宮地功先生）
デモ・ポスター：8 件
口頭発表：8 件
参加者：35 名

2.2010 年度教育システム情報学会中国地区学生研究発表会
日　時：開催場所は未定

## 第 5 号議案　2010 年度収支予算(案)に関する件

2010 年度の収支予算を次のとおり提案いたします。

### 1. 2010 年度収支予算書総括表(自 2010 年 4 月 1 日　至 2011 年 3 月 31 日)

(1)収入の部　　(単位:円)

| 科目 | 合計 | 通常会計 | 事業会計 |
|---|---|---|---|
| 1. 入会金 | 50,000 | 50,000 | — |
| 2. 会費 | 9,950,000 | 9,950,000 | — |
| 3. 資料販売等 | 4,700,000 | 4,700,000 | — |
| 4. 広告収入 | 800,000 | 800,000 | — |
| 5. 全国大会 | 5,000,000 | — | 5,000,000 |
| 6. 企画セミナー | 0 | — | 0 |
| 7. 雑収入 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 当期収入合計 (A) | 20,510,000 | 15,510,000 | 5,000,000 |
| 前年度繰越収支差額 | 7,340,236 | 4,257,822 | 3,082,414 |
| 収入合計 (B) | 27,850,236 | 19,767,822 | 8,082,414 |

(2) 支出の部　　(単位:円)

| 科目 | 合計 | 通常会計 | 事業会計 |
|---|---|---|---|
| 1. 印刷費 | 6,730,000 | 6,730,000 | — |
| 2. 委託費 | 1,200,000 | 1,200,000 | — |
| 3. 通信費 | 1,600,000 | 1,600,000 | — |
| 4. 会議費 | 600,000 | 600,000 | — |
| 5. 旅費 | 600,000 | 600,000 | — |
| 6. 人件費 | 2,700,000 | 2,700,000 | — |
| 7. 消耗品費 | 150,000 | 150,000 | — |
| 8. 支部支援費 | 640,000 | 640,000 | — |
| 9. 賃借料 | 800,000 | 800,000 | — |
| 10. 光熱費 | 60,000 | 60,000 | — |
| 11. 全国大会 | 5,000,000 | — | 5,000,000 |
| 12. 企画セミナー | 0 | — | 0 |
| 13. 雑費 | 100,000 | 100,000 | — |
| 14. 特別支援費 | 360,000 | 0 | 360,000 |
| 15. 予備費 | 300,000 | 200,000 | 100,000 |
| 当期支出合計(C) | 20,840,000 | 15,380,000 | 5,460,000 |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 330,000 | 130,000 | △ 460,000 |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 7,010,236 | 4,387,822 | 2,622,414 |

## 2. 2010 年度収支予算書（自 2010 年 4 月 1 日　至 2011 年 3 月 31 日）

### 1）通常会計収支予算書

(1)収入の部　　(単位:円)

| 科目 | 2009 年度予算 | 2010 年度予算 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1. 入会金 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 2. 会費 | 9,950,000 | 9,950,000 | 0 | |
| 正会員 | 7,700,000 | 7,700,000 | 0 | @7000×1100 名 |
| 準会員 | 500,000 | 500,000 | 0 | @4000×125 名 |
| 企業･団体(維持)会員 | 1,750,000 | 1,750,000 | 0 | @50000×35 社 |
| 3. 資料販売等 | 4,700,000 | 4,700,000 | 0 | |
| 研究報告 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 | |
| 学会誌 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 別刷収入 | 3,200,000 | 3,200,000 | 0 | |
| 4. 広告収入 | 1,000,000 | 800,000 | △ 200,000 | |
| 5. 雑収入 | 100,000 | 10,000 | △ 90,000 | 著作権収入など |
| 当期収入合計(A) | 15,800,000 | 15,510,000 | △ 290,000 | |
| 前年度繰越収支差額 | 6,104,464 | 4,257,822 | △ 1,846,642 | |
| 収入合計(B) | 21,904,464 | 19,767,822 | △ 2,136,642 | |

(2)支出の部　　(単位:円)

| 科目 | 2009 年度予算 | 2010 年度予算 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1. 印刷費 | 6,730,000 | 6,730,000 | 0 | |
| 学会誌 | 2,800,000 | 2,800,000 | 0 | 学会誌 4 回 |
| 英文誌 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 | 英文誌 2 回 |
| 別刷印刷費 | 800,000 | 800,000 | 0 | |
| ニューズレター | 330,000 | 330,000 | 0 | 年 6 回 |
| 研究報告書 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 封筒印刷費 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| その他印刷費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 2. 編集委員会委託費 | 1,100,000 | 1,200,000 | 100,000 | |
| 和文誌 | 800,000 | 900,000 | 100,000 | |
| 英文誌 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 3. 通信費 | 2,100,000 | 1,600,000 | △ 500,000 | |
| 4. 会議費 | 500,000 | 600,000 | 100,000 | |
| 5. 旅費 | 500,000 | 600,000 | 100,000 | |
| 6. 人件費 | 3,000,000 | 2,700,000 | △ 300,000 | |
| 7. 消耗品費 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 8. 支援費 | 640,000 | 640,000 | 0 | |
| 支部 | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| 研究会委員会 | 180,000 | 180,000 | 0 | |
| その他支援費 | 400,000 | 400,000 | 0 | |
| 9. 賃借料 | 1,100,000 | 800,000 | △ 300,000 | |
| 10. 光熱費 | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| 11. 雑費 | 200,000 | 100,000 | △ 100,000 | |
| 12. 予備費 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 当期支出合計(C) | 16,280,000 | 15,380,000 | △ 900,000 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 480,000 | 130,000 | 610,000 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 5,624,464 | 4,387,822 | △ 1,366,642 | |

## 2)事業会計収支予算書

(1)収入の部 (単位:円)

| 科目 | 2009 年度予算 | 2010 年度予算 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1.全国大会 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 | |
| 2.企画セミナー | 0 | 0 | 0 | |
| 3.雑収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収入合計(A) | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 | |
| 前年度繰越収支差額 | 1,908,914 | 3,082,414 | 1,173,500 | |
| 収入合計(B) | 6,908,914 | 8,082,414 | 1,173,500 | |

(2)支出の部 (単位:円)

| 科目 | 2009 年度予算 | 2010 年度予算 | 増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1.全国大会 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 | |
| 2.企画セミナー | 0 | 0 | 0 | |
| 3.特別支援費 | 0 | 360,000 | 360,000 | |
| 4.予備費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 当期支出合計(C) | 5,100,000 | 5,460,000 | 360,000 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 100,000 | △ 460,000 | △ 360,000 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 1,808,914 | 2,622,414 | 813,500 | |

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

## ■2010 年度　功績賞・功労賞受賞者　（第 35 回大会にて表彰）

### 功績賞・・・宇都宮敏男殿

宇都宮先生は、日本の教育工学研究が始まってまもなくの 1975 年度から 1983 年度まで 9 年間にわたり，電子情報通信学会教育工学専門委員会の委員長を務められ、教育工学分野の草分けとして貢献されたのち、1988 年から 1993 年の 6 年間にわたって、現在の教育情報システム学会の前身である CAI 学会の会長をつとめられた。
この間、毎年の CAI 学会全国大会の開催運営に尽力されるとともに、1990 年学習院大学で開催された IFIP 主催の国際学会 International Conference on Advanced Research on Computers in Education においては、CAI 学会の立場から開催に尽力された。
まだ会員も多くはなかった CAI 学会が、独自性を保って継続し、現在の教育システム情報学会につながる方向付けをされた貢献は大変大きなものがあり，理事・評議委員会において満場一致で功績賞受賞者とさせていただいた。

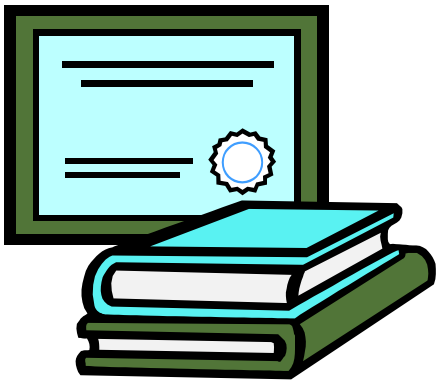
### 功労賞・・・坂元　昂殿

坂元先生は、東京大学文学部心理学科を 1955 年（昭和 30 年）に卒業され、その後東京工業大学にて長年にわたりコンピュータによる教育の効果および遠隔教育システムに関する研究を重ねてこられた。特に視聴覚教育とプログラム学習の研究を発展させ、日本における教育工学を創設し、メディア教育開発センターや日本教育工学振興会、日本学術会議、中央教育審議会などの要職を経て、教育システムの研究基盤とともに社会的基盤づくりを力強く牽引してこられた。教育システム情報学会の前身である「CAI 学会」の創設期の 3 期に渡り副会長を勤められ、また長年にわたり理事として活躍されておられる．30 年間の多大な貢献から，理事・評議委員会において満場一致で功労賞受賞者とさせていただいた。

### 功労賞・・・磯本征雄殿

磯本先生は、古くからプログラミング演習のための演習問題出題と自動採点といった教育的観点からコンピュータによる学習支援システムを開発してこられた．また，学習意欲を高め発展的学習への可能性を持つ学習者への支援機能や支援環境を備えた e-Learning のモデルも以前より研究を続けてこられている。
CAI 学会の時から今日に至るまで副会長・理事・評議員・大会企画委員長・編集委員会委員長など多くの重要な職を務められ，本学会の活動を精力的に推進すると共に、学会の基盤作りに多大な貢献をされた。また、1995 年には東海支部長として地域の情報教育、コミュニティ造りにも尽力されてきた。これらの功績から，理事・評議委員会において満場一致で功労賞受賞者とさせていただいた。

## ■2010年度論文賞受賞者



著　者：茅島 路子殿，稲葉 晶子殿，溝口 理一郎殿
論文名：メタ認知活動の困難さに関するフレームワークの提案

著　者：津森 伸一殿，海尻 賢二殿
論文名：理解状況に適応した選択問題生成方法の検討

# 新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。(敬称略)

◎正・準会員◎ 2010.8～2010.9

| 会員番号 | 氏名 | 所属機関 | | |
|---|---|---|---|---|
| JSiSE-A1003012 | 高田和典 | 北海道札幌東陵高等学校 | | 正会員 |
| JSiSE-A1003013 | 松本多恵 | 奈良女子大学大学院 | 人間文化研究科、 | 準会員 |
| JSiSE-A1003014 | 宗陽一郎 | 株式会社　神戸製鋼所 | 技術開発本部 | 正会員 |
| JSiSE-A1003015 | 平尾　清 | 山形大学 | ｴﾝﾛｰﾙﾒﾝﾄ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ室 | 正会員 |
| JSiSE-A1003016 | 遠藤大二 | 酪農学園大学 | 獣医学部 | 正会員 |
| JSiSE-A1003017 | 戸川　聡 | 四国大学 | 経営情報学部 | 正会員 |
| JSiSE-A1003018 | 森　夏節 | 酪農学園大学 | | 正会員 |
| JSiSE-A1003019 | 内田英二 | 酪農学園大学 | 獣医学部 | 正会員 |
| JSiSE-A1003020 | 中村正弘 | 札幌医科大学 | 付属総合情報センター | 正会員 |
| JSiSE-A1003021 | 佐々木茂 | 帝京大学 | 理工学部 | 正会員 |
| JSiSE-A1003022 | 森　薫 | 慶應義塾大学 | 政策･メディア研究科 | 正会員 |
| JSiSE-A1003023 | 神谷健一 | 大阪工業大学 | 知的財産学部 | 正会員 |
| JSiSE-A1003024 | 能登　宏 | 北星学園大学 | | 正会員 |
| JSiSE-A1003025 | Tomoko　Bialock | University of Southern California | USC Libraries EastAsianLibrary | 正会員 |
| JSiSE-A1003026 | 平松秀信 | 株式会社　大水 | 管理本部経理部仕切課 | 正会員 |
| JSiSE-A1003027 | 中澤貴生 | 国立教育政策研究科 | 教育研究情報センター | 正会員 |
| JSiSE-A1003028 | 出口幸子 | 近畿大学 | 工学部 | 正会員 |

| | |
|---|---|
| 正会員 | 16 |
| 準会員 | 1 |

## ★☆年会費納付のお願い☆★

本年度年会費のお支払い期限は、8 月末となっておりますので、未だの方は至急お支払をお願い致します。

また、2009 年以前の会費の未納につきましては、至急お支払いただきますようお願い致します。未納が続きますと、学会発送物をお止めさせて頂います。

ご不明な点等ございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

**JSiSE 事務局 E-mail：secretariat@jsise.org**

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、事務局までご連絡ください。

ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎振込先◎

■銀行名：ゆうちょ銀行
■支店名：019 店
■当座預金：0709632　※00180-6-709632
■口座名義：教育システム情報学会

■銀行名：池田泉州銀行
■支店名：上新庄支店（222）
■普通預金：13440
■口座名義：教育システム情報学会　家本 修

◎年会費のご案内◎

■正会員：7,000 円
■準会員：4,000 円
■企業･団体会員：50,000 円
■研究報告年間購読：4,000 円
■入会金：1,000 円（初年度のみ）

# ■□■□■□■2010 年度　研究会開催予定■□■□■□■

| 日　時 | 内　容 | 会　場 | 担　当 |
|---|---|---|---|
| **第 4 回研究会**<br>2010 年 11 月 13 日<br>（土曜日） | 新しい学習／教育活動を可能にする ICT 活用とその評価 | 広島大学 | 柏原，小尻，曽我，平嶋 |
| **第 5 回研究会**<br>2011 年 1 月 29 日<br>（土曜日） | 新技術の開発と活用による新しい教育・学習環境/一般 | 八王子学園都市センター | 佐々木,永森,三石 |
| **第 6 回研究会**<br>2011 年 3 月 19 日<br>（土曜日） | 情報教育の国際化／一般 | 九州工業大学<br>情報工学部 | 西野，西端，松永 |


◆◇ 研究報告のお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は，㈱毎日学術フォーラムまでお申し込みください。 **1 部1,300 円**（送料共）です。

株式会社　毎日学術フォーラム
〒100-0003　東京都千代田区一ツ橋1-1-1　パレスサイドビル2階
TEL　：03-6267-4550　　FAX　：03-6267-4555
Mail ：maf－sales@mycom.co.jp
URL　：http://maf.mycom.co.jp


■なお、JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。　この際にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料　4,000円／年6回発行＜送料込＞